

## 全腎協青年研修会に参加して

青年部部长 小島俊介

日時 平成 30 年 8 月 25 日（土）8 月 26 日（日）

場所 アワーズイン阪急（東京都品川区大井町）

参加者 全国の青年患者 38 名、全腎協理事 11 名

8 月 25 日、26 日に東京にて開催された全腎協青年研修会に参加してきました。まずは全腎協馬場会長よりあいさつがあり、今年 4 月に青年委員会を立ち上げて初めての研修会なので、ここで勉強したことを県組織に持ち帰って広めてほしいと言われました。また議員との懇談で「透析はよくなったが、社会貢献していかなくては」と強く言われたと話されました。

講演は、自民党石田昌宏参議院議員の政策秘書 五反分氏による「課題解決と政治へのアプローチ」という内容で、議員の秘書の立場からお話を聞きました。ロビイング（ロビー活動）がここ数年活発化していて、依頼を受けた欧米企業が資料を 1、2 枚にギュッと項目を絞り込んでわかりやすく要望をしてくるそうです。要望先を 4 つの層にわけて考えるという事で「国政」「地方行政」「診療報酬」「病院」それぞれのアプローチ方法についてお話がありました。「国政」に関しては、法案をつくるためには議員連盟が大きな役目を果たしており、「CKD 議員連盟」を作る方向で進んでいるそうです。「地方行政」に関しては、地域医療介護総合確保基金という予算があることを知りました。「診療報酬」に関しては、課題を解決するためにエビデンスを一緒に示すことが大事だと教わりました。「病院」に関しては、院長の個別性があるが、相手が受け入れやすい形で要求を考えるのが良い、信頼関係が大事ということでした。また世論の反応については、国民に広く全腎協の活動を知ってもらわないと自己負担を増やせと言われかねないとの事でした。その後グループから意見、質問が出ましたが、将来的に議員に立候補したいという方もいました。

つづいて岡山の宮本理事から西日本豪雨の報告があり、真備記念病院に 100 名の患者がいたが 23 か所に移動し時短なく透析ができたということでした。社協と一緒に災害ネットワークを作ったが普段からのおつきあいが大事という事を教わりました。

2 日目はグループワークで青年層として国や市町村への要望を考えるということでしたが、我々のグループは、要望をする前段階としてしっかり知識を積み上げ、発信できるようにするという話にまとまりました。



2日目 グループワーク (アワーズイン阪急にて)



グループワークの様子 (アワーズイン阪急にて)